



射水市立東明小学校 学校だより



東明っ子

第22号

令和5年2月24日

今年度最後の分散型学習参観

寒が戻り、雪がちらつく厳しい寒さの中、2月10日（金）に今年度最後の学習参観を行ったところ、多くの保護者の皆様にご来校いただき、誠にありがとうございました。

授業は、「道徳科」を中心に算数や国語、体育等を公開しました。どの教室も落ち着いた雰囲気、保護者の皆様には本校の子供たちの「生き生きと学ぶ姿」を見ていただけたことと思います。



卒業を迎える6年生はこれまで育ててくれた感謝の気持ちを込めて感謝集会を開催しました。6年生が自分たちの手で集会を企画し、司会進行しました。親子で円になって行った以心伝心ゲームでは一緒に頭を絞って考える姿が微笑ましく、いす取りゲームでの親子の触れ合いもよい思い出になったのではないかと思います。



この1年間、学校教育活動にご理解・ご協力をいただき、ありがとうございました。

楽しかったよ！6年生からの贈り物・東明ランド！

卒業する6年生から在校生に感謝の気持ちを伝えるために、「東明ランド」を企画し、2月14日（火）に開催しました。この日のために6年生は総合的な活動の時間や学級活動の時間を利用し、準備してきました。アトラクションは、「お化け屋敷」「ダンボール迷路」「ドリブルバスケット」「キャップタワー」「ボウリング」「大縄・短縄」「アスレチック」の7つです。5年生がリーダーとなって、縦割りグループで活動しました。大盛況のダンボール迷路の入り口にいた6年生の女の子に「すごい人気だね。頑張って準備してよかったね」と声をかけると「はい」とはじける笑顔で応えてくれました。また、ボウリングでは、5年生の男の子が「来年は、僕たちがやらなければいけない」と、真剣な顔で話してくれたのが印象的でした。こうして東明魂が引き継がれていくのだと感慨深くなりました。子供たちが笑顔で楽しく活動した素敵な行事になりました。6年生さん「ありがとう！！」





名人技 なわとび大会



2月13日(月)の4時間目に3年ぶりの「なわとび大会」を開催しました。

各学級から選ばれた各種目2名の代表選手が体育館に集まり、競い合います。種目は、「前とび」「後ろとび」「あやとび」「交差とび」「二重とび」の5種目です。選手以外の子供たちは教室でリモート観戦し、選手の応援をしました。

体育委員会の子供たちが司会進行を務め、荒木弥先生から競技上の注意を聞き、大会が始まりました。最初は前とびです。高速でビュンビュンと縄を回し、レベルの高い演技に大きな拍手が起こりました。あやとびでは、1分間に160回、二重とびでは、30秒間に65回等、好記録が続出しました。低・中・高学年別で1位から3位までの子供たちが表彰されます。素晴らしい大会となりました。

実は1年生の横でこっそり私もなわとび大会に参加していました。最後の二重とびが終わった後、倒れこむ姿を見た4年生の子供たちから「大丈夫ですか？」と声をかけられました。もっと鍛えないといけないと心に強く思いました。なわとびは縄1本で手軽にできる冬場の体力づくりに最適な運動です。どんどん積極的に取り組みましょう。

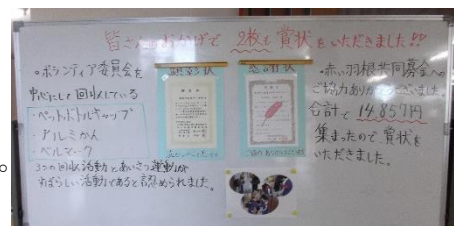


顕彰状と感謝状をいただきました！

毎月ボランティア委員会が全校に呼びかけて、アルミ缶・ペットボトルキャップ・ベルマークの回収を行っています。SDGsを推進するその地道な活動が評価され、この度富山県善意銀行から「顕彰状」をいただきました。「あなたの温かい心と思いやりの心は明るい社会づくりの輝かしいともしびであります」と讃えていただきました。顕彰とは、「ある人の功績や功労といったよいことを、人々の前で褒めたたえて明らかにして世間に周知することを表す」という意味です。東明小学校の素晴らしいボランティア精神を後世まで語り継いでいけたらいいなと思いました。

また、子供たちが募金してくれた赤い羽根共同募金が14,857円も集まり、射水市共同募金委員会より表彰状をいただきました。保護者の皆様方にもご協力をいただき、ありがとうございました。

善意の輪を広げていきたいですね。



(校長 阿尾 昌 樹)